

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：TDM	
日付：11月1日（土）曜日、セッション時間：15:00～16:30	
司会者名（所属）：室町泰徳（東京工業大学）	
討 議 内 容	セッション全体：TDM の中でも特に駐車政策に関わる 3 編の発表があった。オーストラリアの革新的な駐車場課金、首都圏における P&R 拡大の可能性、白川郷における駐車場予約システム実験などの概要といった内容であり、比較的活発な議論が行われた。
	（10） 松本昌二（長岡技術科学大学）：オーストラリア・パース都心部における戦略的駐車政策とその効果 パース都心部における路上駐車の状態、物流車両の取り扱い、MM との関係、市民の反応などに関する質疑があった。
	（11） 中野仁嘉（（株）博報堂）：業務核都市を目的地としたパークアンドライドの実態 P&R 利用者の分布、通勤手当の影響、P&R を選択する行動要因とデータ利用可能性などに関する議論があった。
	（12） 平澤周一（東日本旅客鉄道株式会社）：観光地における TDO 施策による観光車両コントロールの可能性に関する研究 バスと乗用車の予約率、シミュレーションにおける仮定の詳細、予約者と滞在時間の因果関係、滞在時間の増加と駐車場利用の効率性の関係などに関する議論があった。